

片山学園公開研究会のご案内
～「深い学び」に導くアクティブ・ラーニング～

寒冷の候、みなさま方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

先月に行われた共通テストの 2 回目のプレテストでは、1 回目に比べ、より現実的な問題が示されましたが、課題設定を理解していないと問題の意図・解答の方向性が定められない問題が並んでいました。それらは、高等学校に向けた「探究的な学びを多く経験させよ」というメッセージだと感じたところです。

さて、本校では、平成 28 年度より全授業でアクティブ・ラーニングを取り入れることを柱に教育改革を始め、3 年目となる今年度からは「探究」を教科の授業に取り入れ、中 1 と高 1 の 2 学年において、5 教科で各学期に 1 度「課題探究型授業」を行っています。生徒に与える課題は、「単元・分野の知識を活用・応用」して発見する「答えが一つでない」「協働で解を導く」問いです。毎学期、各教科部会全員で頭を悩ませ、シラバスと評価基準を生徒と共有しながら実践しています。

今年度の公開研究会は、これらの新しい取り組みの成果と振り返りとして、下記の通り開催する運びとなりました。多くの先生方の参加をお待ちしております。

記

1. 期 日 平成 31 年 2 月 8 日 (金)
2. 会 場 片山学園中学校・高等学校
3. 対 象 中学校、高等学校等学校関係者
4. 日 程 12:30～13:20 公開研究授業
13:30～14:20 公開研究授業
14:30～15:00 研究協議
15:10～16:40 講演会

講師：茨城県立並木中等教育学校校長 中島 博司 先生
(前 全国高等学校長協会 教育課程委員会 委員長)

演題：学力向上につながる「アクティブ・ラーニング」について
—AL 指数・R80・TO 学習の考案—

18:00～20:00 中島博司先生を囲む会

※中島先生は「種蒔く人」として全国の高校や研修会で AL 普及の講演活動をなさっています。当日は、先生との貴重な意見交換の場として懇親会を予定しております。富山駅前にて参加費 5,000 円の予定です (詳細は当日までに案内)。

5. 公開授業 別紙 1 にてご確認ください。
6. 申込方法 別紙 2 にて 1 月 28 日 (月) までに FAX してください。

※問い合わせ 片山学園高等学校
TEL 076-483-8500、FAX 076-483-3900
担当 進路指導部 森内 梨絵

(別紙1)

片山学園中学校・高等学校 公開研究授業

研究テーマ：課題探究型授業の開発と実践

対象授業のすべてにおいて、探究的学びを実践します。

〈生徒に与える課題〉

- ・単元や分野の知識を活用して解決するもの
- ・答えが一つに定まらないもの
- ・他者と協働して解を導くもの

※シラバスと評価基準は事前に生徒へ配布して内容を共有

1. 公開授業日時

2月8日(金) 4限 12:30~13:20 (授業番号③、④、⑤、⑥)

5限 13:30~14:20 (授業番号①、②、⑦、⑧、⑨)

2. 公開授業一覧

番号	学年・クラス	教科/科目	単元・分野	担当者
①	中学1年1組	国語	「日本の花火の楽しみ」	下田 杏美
②	中学1年2組	社会	応仁の乱と戦国大名 (戦国大名の特色)	尾山 雅夫
③	中学1年1組	理科	原子と分子 (周期表)	三箇 裕介
④	中学1年2組	英語	Peter Rabbit	金山 智美
⑤	高校1年Bクラス	国語総合 (現代文)	「グローバル化とグローバリズム」	古澤 いずみ
⑥	高校1年Cクラス	世界史A	第二次世界大戦と世界	岩田 雅典
⑦	高校1年Aクラス	数学II	積分法 (面積)	山形 武司
⑧	高校1年Bクラス	物理基礎	最大摩擦力 (力学)	中島 正博
⑨	高校1年Cクラス	コミュニケーション 英語I	プレゼンテーション (英単語の語源・由来)	森井 浩大

(別紙 2)

片山学園高等学校長 宛

片山学園公開研究会参加申込書

貴校名 _____

御氏名	役職、分掌等	授業番号	研究協議会	講演会	囲む会

※見学される先生の氏名、役職や分掌（任意）、見学される授業番号（別紙1を参照）を書き、講演会や研究協議会、囲む会は、出席される場合それぞれの欄に○をご記入ください。

※申し込みは、1月28日（月）までにお願いします。

片山学園高等学校 FAX 番号 076-483-3900